



保護者進路学習会を行いました



令和8年2月5日(木)10時00分から11時20分まで、本校多目的室において「保護者進路学習会」を開催いたしました。当日は、30名近い保護者の皆様から参加の希望があり、進路に関する保護者の皆様の意識の高さがうかがえました。今回の学習会では、前半・後半の2つのテーマを設定し、実施いたしました。前半は「就労選択支援とは何か」をテーマとし、令和7年10月1日より開始された「就労選択支援」について、その目的・内容・進め方を理解するため、山梨県福祉保健部 障害福祉課 施設支援担当の土屋勇歩氏を講師にお迎えし、御説明をいただきました。「就労選択支援」は、一言でいえば「自分に合った働き方を見つけるために、職場体験等を通して希望を整理し、進路決定をサポートしていく支援制度」です。本校では、来年度の春季に実施する産業現場等における実習において、まずはB型事業所を目指す生徒の進路決定を支援するため、担当計画相談員や各市町村の基幹相談支援センター、障害福祉担当課等と連携しながら、支援制度が動き出していきます。関係者の皆様には、今後も情報を発信してまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。後半は「子どものために親としてできること」をテーマとし、昨年度本校を卒業した中山健伸さんの保護者である中山里美氏を講師にお迎えしました。現在の生活の様子や、医療的ケアに即した在学中の経験などを直接お伺いし、卒業後の進路を考える貴重な機会となりました。医療的ケアの必要な生徒をお持ちの保護者の方々のみならず、卒業後の進路選択に向けて大切なことや準備すべきことについても、具体的なお話を聞くことができました。また、研修会終了後には、中山氏の周囲に多くの保護者の皆様が集まり、講義内容やその他の情報を共有される姿が見られ、本日の研修が実りあるものであったと改めて感じました。なお、来年度の進路学習会に取り上げてほしい内容やテーマがありましたら、遠慮なく進路係までお申し出ください。皆様から、いただいた御意見を踏まえ、可能な限りニーズに合った研修を計画してまいります。

特別支援学校における「進路指導」および「キャリア教育」の考え方



令和7年度も残すところわずかとなり、個別懇談などで、1年間の子供たちの学びと成長の軌跡を振り返る時期となりました。本年度も、子供たちは毎日の学校生活の中で、できることを一つずつ増やし、新しいことに挑戦しながら、確かな成長を見せてくれました。

特別支援学校の進路指導は、「どこへ進むか」だけではなく、
“その子らしい生活のあり方・将来の姿を共に考えること”を大切にしています。

学齢期の教育は、将来の進路を定めるための準備にとどまらず、

- ・どのような場面で力を発揮できるか・どのような支援があると安心して生活できるか
 - ・どのように周囲と関わると心地よく過ごせるか
- といった、お子様を取り巻く生活全体へとつながっています。



キャリア教育では、子供たちの「生きる力」を育てることを目標に、

- ・ 自分を知り、自分のよさに気付くこと
- ・ 人と関わることの楽しさや安心感
- ・ 社会の中で役割を持つ経験
- ・ 生活の中でできることを少しずつ広げる力を育むことを重視しています。

特別支援学校のキャリア教育は、将来の職業に直結した指導だけでなく、日々の生活・学習・人間関係すべてがキャリア形成の基盤になるという視点で取り組んでいます。この時期の小さな成功体験は自己肯定感の芽を育て、後のキャリア形成の重要な土台となります。「楽しい」「やってみたい」という気持ちが、次の学びへと自然につながっていきます。

■小学部で大切なこと～小学部は、学校生活の「はじめの一步」であり、これからの学びや成長の基礎をつくる大切な時期です。

- ・ 安心して学校に通えること
- ・ 人と関わる楽しさを知ること
- ・ 学習や遊びに主体的に向かう態度
- ・ できたことを一つずつ積み重ねる経験
- ・ 自分の思いを伝える力の育成を大切にしています。



■中学部で大切なこと～中学生になると、身体的・心理的に大きく変化する時期を迎えます。自分自身を客観視する力が育ち、「自分は何ができるのか」「どのように関わりたいか」といった自己理解が進む時期でもあります。

- ・ 集団生活の中で役割を持つ経験
- ・ 作業学習や体験活動を通じた“働くこと”への気付き
- ・ 自己理解を深める指導（得意・不得意を知る）
- ・ 社会のルールを知り、実生活で活かす力を大切にしています。特に作業学習は、将来の働き方を考える上で重要な学びであり、「どの作業に興味があるか」、「どの作業なら集中して取り組めるか」といった発見が、進路の土台を形作っていきます。



■高等部で大切なこと～高等部では、卒業後の生活を具体的に見据え、社会参加に向けた実践的な学びが中心となります。

- ・ 校内外での実習を通じて働く場面を体験
- ・ 生活リズムを整え、健康管理を行うこと
- ・ 公共の場でのマナーを理解し行動する力
- ・ 思いや希望を大人に向け伝える力
- ・ 卒業後の福祉サービスや地域資源とのつながりを知ることが大切にしています。



■特別支援学校の進路指導では

・ 進学 ・ 一般就労 ・ 福祉的就労 ・ 生活介護 ・ 療養介護 ・ 余暇 ・ 地域活動
など、多様な選択肢の中から、その子らしさを大切にした「最適な生活の場」を、保護者の皆様と共に考えていきます。今年度も、子どもたちが自分らしさを発揮しながら成長する姿を、保護者の皆様と共に見守ることができましたことを、大変うれしく思っております。来年度も、キャリア教育の視点を大切にしながら、子供たちの学びの歩みを止めることなく、一人一人の未来につながる進路指導を進めてまいります。



お子さんの一年間の『キャリア発達』を整理し、御家族や支援者一同で共有するためのツールとして、『キャリアパスポート』があります。懇談時などで、保護者の皆様にもコメントをいただく必要がありますので、御理解と御協力をお願いいたします。

本校 HP

